



最も重要な力（伸ばすべき力）とは

浜中町立茶内小学校長 富田直樹

2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマン教授たちのグループが、とても興味深い研究をしているので紹介します。この研究では、人生の成功には、学力テストなどで測定できる「認知能力」だけではなく、「非認知能力」が重要であることを明らかにしています。そして、ヘックマン教授のグループは、「非認知能力」を「ビッグ・ファイブ (Big Five)」として整理しました。

非認知能力のビッグ・ファイブ

	定義	側面、関連スキル
真面目さ	計画性、責任感、勤勉性の傾向	やり抜く力、粘り強さ、自己規律、達成努力、大志、熟慮
開放性	新たな美的、文化的、知的な経験に開放的な傾向	好奇心、想像力、審美眼
外向性	自分の関心や精力が外の人や物に向けられる傾向	積極性、社交性、明るさ
協調性	利己的でなく協調的に行動できる傾向	思いやり、優しさ
精神的安定性	感情的反応の予測性と整合性の傾向	不安、イライラ、衝動が少ない、ストレス耐性、自信、自己効力感

Heckman, James J.; Kautz, Tim (2015) "Fostering and Measuring Skills: Interventions That Improve Character and Cognition"に基づき、鶴光太郎教授（慶應義塾大学）が整理

さて、この5つの中で、仕事の成果や人生に最も影響が強いのはどれでしょうか。主にアメリカでの複数の研究によると、それは「真面目さ」です。ここで言う「真面目さ」は、人の言うことを素直に聞くという意味ではありません。経済学者の鶴光太郎氏によると、「野心をもち目標に向かって自分を律しながら、どんな困難があっても粘り強く責任感をもって努力していく資質」とされています。

ペンシルベニア大学のアンジェラ・ダックワース教授も、偉業を成し遂げた301名の歴史上の人物について調査し、その特徴を4点にまとめました。それは、「①遠くの目標を視野に入れて努力していること、②いったん取り組んだことを気まぐれにやめないこと、③意志の強さ、粘り強さ、④障害にぶつかっても、諦めずに取り組むこと」です。

こうした研究からも、目標を定めて粘り強く、諦めないで続けることの重要性が分かります。本校の学校教育目標や重点教育目標は、子どもたちが身に付ける最も重要な力（伸ばすべき力）が示されているのでしょうか。なお、こうした力は、私たち大人にも重要です。